

令和7年度第2回美幌町義務教育学校開校検討委員会（意見交換結果）
意見交換テーマ「新しい学校づくりに期待すること・課題となること」

○意見交換の内容を分野ごとに仕分けし、事務局で基本構想案に反映を検討する項目、開校検討委員会で意見交換する項目、開校準備委員会で検討する項目に整理しました。

○開校検討委員会で意見交換する項目として、今回のグループワークでは、屋外施設（敷地全般）、駐車場、柏の木について課題などを掘り下げて議論し、基本構想案作成の参考とします。

1 ハード面（学校施設）

【校舎・周辺環境】

- ・日照権の配慮 A
- ・美幌小学校は外観はきれいだか、中身については老朽化しており雨漏り等もあるためそういった修繕費用も考えていただきたい。B
- ・あくまでも子どもファーストに考え抜いた環境整備に努め、ソフトもハードも政治や利権が絡まないように進めてもらいたい。C
- ・全児童生徒が同時アクセス可能なICTインフラ整備に取り組んでももらいたい。C
- ・工事期間中は、児童生徒の活動に危険が伴わず、快適な学習環境のなか工事を進めてもらいたい。C
- ・児童生徒の安全を十分に確保したなかで、スクールバスを止め・走行ができる環境の準備しなければならない。C
- ・送迎する保護者の車両もあることから周辺への住環境の配慮が必要である。C
- ・サブ校舎を作り、特定の授業のみサブ校舎で行うことはできないか。D

→事務局で基本構想案への反映を検討

【教室】

- ・教育相談室、視聴覚室を各2室増設 A
- ・遠隔授業ができる専用教室の増設 A
- ・学童の教室をきちんと備えてもらいたい。C
- ・現在工事をしている高校では、騒音が酷く窓も開けられない。エアコンもない。美幌小学校の教室にエアコンは完備されているが、特別教室には完備されていないため、学習環境の悪化に不安を抱く。C
- ・体育館や保健室の確保が必要（保健室は子どもの成長段階に応じて2室）D

→事務局で基本構想案への反映を検討

【屋内運動施設】

- ・サブアリーナの建設 A
- ・体育館も一つで足りるのか（北中をサブにする？）B
- ・体育館はメインとサブだけでは不足する可能性がある C
- ・体育館や保健室の確保が必要（保健室は子どもの成長段階に応じて2室）D

→事務局で基本構想案への反映を検討

【屋外施設】

- ・限られた敷地内での増築になるため、校長、教頭住宅、プールについては、取り壊してグラウンド面積を広げる。住宅については民間も検討してもよいのでは。B
- ・遊具がまとまった場所がない。（旭小、東陽小はまとまっている。）どの程度遊具が必要か。B
- ・プールもB&Gを使用しているし、スケートリンクも大正橋に集約でいいと思う。B
- ・グラウンドでは、少年野球は可能であるが、中学校の野球は難しいことも想定されるので、北中グラウンドの有効利用に期待したい。C

→開校検討委員会で意見交換

【スクールバス】

- ・スクールバスレーン、駐車場の確保 B
- ・部活動の地域移行に係る配車も踏まえ、スクールバスの充実に期待したい。
C
- ・児童生徒の安全を十分に確保したなかで、スクールバスを止め・走行ができる環境の準備しなければならない。C
- ・スクールバスは学校ではなく、近くの場所に拠点を作り乗降車させるのはどうか。D
- ・スクールバスは他校から聞いた話では、毎日の乗車リストを管理することがとても大変とのこと。（乗る乗らないの状況が人によって毎日変わる）D

→事務局で基本構想案への反映を検討するとともに、具体的な対策は開校準備委員会で検討

【駐車場】

- ・スクールバスレーン、駐車場の確保 B
- ・教職員等が増加することから駐車場が不足する。C
- ・美小の現在の駐車場の規模を考えると、登下校の安全面が心配（車の往来）。さらに冬季間は落雪による制限や、雪捨て場の確保が課題。D

→開校検討委員会で意見交換

【図書館・給食センター】

- ・図書館の増設（町民が利用できるように）A
- ・給食センターは美小に移設するのか B
- ・義務教育学校の規模では図書の充実は大変だと思う。そこで図書館の老朽化を考慮し、図書館を学校に近接又併設することで、勉強の場の確保や学童の年齢が終わる児童生徒の利用に繋がたら良いのではないか。図書館があることで多世代の交流や見守りに繋がる。C

→事務局で基本構想案への反映を検討

【学童保育】

- ・学童の教室をきちんと備えてもらいたい。C

→事務局で基本構想案への反映を検討

【柏の木】

- ・柏の木の対応について、樹木医も交えた検討が必要。(費用対効果も含めて)
B

→開校検討委員会で意見交換

【防災】

- ・地域の方々が避難できる機能を備えてもらいたい。C

→事務局で基本構想案への反映を検討

2 ソフト面（学校運営）

【学校運営全般】

- ・のびのびとゆったりするスペースで学んでほしい。B
- ・義務教育学校にすることでのメリットをつぶさないように。D
ただ1つにするのではなく、グレードアップする心構えを大切に。
先進地の流れに縛られず、町独自の仕組みを作っていく。
- ・45分や50分の授業ではなく、30分授業で授業数を増やすという方法もある。
子どもの成長に合わせて授業時間の設定を柔軟に。D
(低学年ほど長時間の睡眠が必要で、現在の授業開始時間は成長を考慮すると早すぎる)

→事務局で基本構想案への反映を検討するとともに、具体的な取組みは開校準備委員会で検討

【学校行事】

- ・運動会について、800人規模になると時間帯を分けて開催になるか。B

→開校準備委員会で検討

【PTA】

- ・PTA交流会の見直し B

コロナ前までは、6校の役員、先生方、町長、教育長、町議等が集まって意見交換をする行事があった。今後の義務教育学校の事もあるし、貴重な場だと考えるので、開催していく方向で検討して欲しい。

→開校準備委員会で検討

【教職員】

- ・図書館司書の常駐、教職員の配置 A
- ・先生の働きやすい環境づくり（カウンセリング） A
- ・校内の児童生徒数・学年層が幅広となることで、教員不足が想定される。D

→開校準備委員会で検討

【学校・地域連携】

- ・大学（東大・北大）との連携 A
- ・町民開放や夜間利用（図書館など） A
- ・高校との連携（世代間交流） A
- ・町外からの移住増（通勤圏の拡大） A
- ・小中学校の発想を伸ばす（産業や町の施策へ活かす） A
- ・地元愛を育てる教育（Uターン者を増やす） A
- ・美幌高校に行くようなサポートを B

町外の高校に行くのではなく、美幌スペシャルを掲げていることから、学力面も町外の高校に行かなくても充実した環境のもとで学び、小中高一貫で美幌愛を育ててほしい。

- ・商店街が近いので、フィールドワークを行えるなど教育活動と連携した取り組みができる。教育活動をハブとして、様々な取り組みが可能である。C
- ・商店街に防犯カメラを設置することで、登下校の見守りの強化ができる。C
- ・児童生徒の多様性を踏まえ、校内外の機関との連携強化に取り組んで欲しい。

C

→事務局で基本構想案への反映を検討するとともに、具体的な取組みは開校準備委員会で検討

【いじめ・不登校対応】

- ・ いじめ問題は、いつどこで起こるか予測できないため、全ての教員等が対応できる体制づくりとマニュアルの整備等に期待する。 C
- ・ 学校は、いじめゼロに向けて取組んでいるが、SNS等の普及により難しい世の中となっている。義務教育学校では縦割り活動で上級生が下級生の面倒をみたりすることから、そのような活動を通して減少することを期待したい。また、職員が増えることで、より多くの校内組織を作ることができるため、様々な問題に対応できるよう期待している。 C
- ・ 1校にすることで児童生徒間の問題（いじめ等）に対する不安がある。 D
異年齢同士の縦割り活動でいじめ発生の抑制を期待
- ・ 不登校対応を充実させられるような仕組みを作ってほしい。 D
学校内に別室を確保することや、学校の他に教育相談室や自宅など場所の選択肢を作ってあげる。

→事務局で基本構想案への反映を検討するとともに、具体的な取組みは開校準備委員会で検討